

お知らせ

日本睡眠学会の幹事をお努めになっておられる筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構長の柳沢正史博士が、生理学・薬理学・神経科学分野の研究における多大な功績を認められ、2016年春の紫綬褒章を受賞されました。

博士は、生理活性ペプチド・エンドセリンを発見し、さらに、神経ペプチド・オレキシンを発見、この物質が睡眠/覚醒を直接制御していることを明らかにし、睡眠学の発展に大きく貢献してきました。

日本睡眠学会としても、この度の受賞を心からお祝いしたいと思います。

一般社団法人日本睡眠学会
理事長 伊藤 洋